

坂本龍一さん「必要性あるのか」

川棚 現地訪問、住民と対話

石木ダム建設問題

言葉家の坂本龍一さんが25日、川棚と佐世保市が東彼川棚町に計画する石木ダム建設予定地を訪れ、住民らと対話した。長崎市内であったトークセッションでは「ダムの必要性が今もあるのか、一審決めたことを変えない公共事業の典型例を感じる」と疑問を呈した。



川棚町の案内で石木川を築き語る坂本さん(手前)
—東彼川棚町民会館 (坂本龍一撮影)

石木ダム賛否の討論会開催を目指す市民グループ「#いしきをかえよう」実行委が招いた。

坂本さんは、反対地権者団体が専ら川棚地区を訪ね、地権者の案内で石木川周辺を歩き、公民館では1982年に駅が行った強制測量の記録写真に見入った。長崎市内では、地権者らの暮らしを描いたドキュメンタリー映画「ほたるの川」のまもりびととの上映後、ジャーナリストの津田大介さん、パタゴニア日本支社長の前井隆行さんと意見交換した。

坂本さんは「町や人々が行政による施策の犠牲になる機会は近代ずっと続いてきた」と指摘。津田さんは「石木ダムの問題は原発や米軍基地とも通じていて、これからの日本の未来をどうしていくのかという問いを突きつけている」と述べた。

(六倉大輔)

「小さな公共」守るべき



「小さな公共を守らなければ、大きな公共も守れない」と語る坂本さん
—長崎市早野町、市平和会館 (田中真樹撮影)

世界的ミニマリズムとして活躍する一方、平和、環境問題で積極的に発信、活動してきた坂本龍一さん。石木ダム問題について長崎新聞の単独インタビューに応じた。

インタビュー

—石木ダムに関心を持ったきっかけは、

昨年冬、津井さん(パタゴニア日本支社長)に話を聞くまでは気づかしながら知らなかった。環境問題についてこれまでも発言してきたが、当然全てに関わることはできない。今回は縁があった。信頼している人との縁で、人の意識は変わっていくものだと思う。

—現地を訪れた印象は、

美しい棚田が目を引き、ウグイスの鳴き声も聞けるせいいたくな場所と感じた。「ダムを通る」と聞いて、もっと山奥の大規模な土地と想像していたが、想像以上に南から流れて、小さくて驚いた。こんな小さな川をせき止めて、どのくらいの水が貯められるのか、ダムがなければ困る状況なのか、不思議に思った。

—この問題は県内でも関心が高いとは思えない。

大事なことは、やはり「共感」だろう。共感とは、遠く離れていても、同じ人間で地球の共通の課題を共有している意識を持つこと。映画を見るのも一つの方法だし、実際に現場に行くとさらに印象が変わる。いずれにしても問題を知らなければ、共感しようがない。

—石木ダム問題が私たちに投げかけているものは、

民主主義では民が主幹であり、一部の政治家、企業ではなく、良の利益が守られるべきだ。それが「公共」ということだと、田中世帯だけだとしても、その小さな公共を守らなければ、大きな公共も守れないのではないかと、聞き手は六倉大輔

毎日新聞 3月26日 朝刊

坂本龍一さんら 石木ダムで討論

県と佐世保市が川棚町に計画する石木ダムを巡って、環境家の坂本龍一さんらと環境交流するトークイベントが26日、豊後市内であった。ダム建設賛成派と反対派の両方から意見を述べた。坂本龍一さんは「ダムは必要か」と疑問を投げかけた。環境交流は「必要か」と疑問を投げかけた。環境交流は「必要か」と疑問を投げかけた。



石木ダム建設に反対する環境家らと、坂本龍一さんらによるトークイベントが26日、豊後市内であった。ダム建設賛成派と反対派の両方から意見を述べた。坂本龍一さんは「ダムは必要か」と疑問を投げかけた。環境交流は「必要か」と疑問を投げかけた。

朝日新聞 3月26日 朝刊

石木ダム予定地 記録映画を上映

環境家らによる記録映画「ほたるの川のまもりびと」が26日、豊後市内であった。ダム建設賛成派と反対派の両方から意見を述べた。坂本龍一さんは「ダムは必要か」と疑問を投げかけた。環境交流は「必要か」と疑問を投げかけた。

西日本新聞 3月13日 朝刊

石木ダム反対地権者ら主人公の映画 国際環境映像祭で上映

大賞の最終選考に残る

23日に「ほたるの川のまもりびと」

国際環境映像祭で上映される映画「ほたるの川のまもりびと」のポスター。主演は山田嘉津子ら。映画は石木ダム建設に反対する地権者らを中心に撮影された。国際環境映像祭で上映される。大賞の最終選考に残る。

毎日新聞 1月12日 朝刊

石木ダム予定地の 暮らしを映画に

13日から県内で無料試写会

県と佐世保市が川棚町に計画する石木ダム事業で、水没予定地に住む13世帯の日常生活を撮影したドキュメンタリー映画「ほたるの川のまもりびと」が完成した。13日から県内各地で無料試写会があり、山田英治監督は「ダム問題の賛成反対を問うのではなく、ま

試写会は13日午後6時50分、大村市のプラザおおむら14日午後1時半、西海市のフェ



「ほたるの川のまもりびと」のポスター
—ふんぶんフィルムズ提供